

かしょうびょう

火傷病菌とは

学名：*Erwinia amylovora*

英名：Fire blight

【分布】

韓国、イスラエル、トルコ、イタリア、英国、オランダ、ドイツ、フランス、エジプト、北米諸国、メキシコ、ニュージーランド等

【宿主植物】

りんご属、なし属、さんざし属、ななかまど属、かりん、びわ等

【病徴】

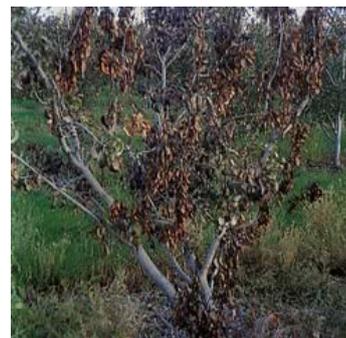
- ・感染すると、火にあぶられたような症状を示し、病斑が主幹を取り巻くことにより樹全体が枯れることもある。
- ・り病枝の先端は下方に湾曲して「羊飼いの杖」と呼ばれる特徴的な症状を示す。
- ・病斑から細菌泥が漏出し、ハチ等の昆虫や風雨によって伝搬される。また、り病した花の花粉が昆虫により健全な花に運ばれ、感染する場合もある。

【防除】

- ・火傷病菌を根絶できる有効な防除方法は確立されていないため、り病樹の伐採による防除が必要。
- ・韓国においては、2015年に初めて発生が確認され、公的な防除措置（感染地域のすべての宿主植物の廃棄、モニタリング調査等）が講じられているが、その後も発生地域が拡大している。



「羊飼いの杖」症状



火傷病菌による枯死